



こくせん やかつせん  
『国姓(姓)爺合戦』

近松門左衛門

『国姓爺合戦』は、近松浄瑠璃の代表作であるが、主人公「和藤内」は、実在の人物である鄭成功をモデルとしている。五段構成で、第二段が平戸を舞台とする。

鄭成功は、明の商人鄭芝竜を父、肥前国平戸の田川氏の娘を母とし、七歳まで平戸に育った。やがて中国に渡航し、清王朝に倒された大明国の再興を目指す軍勢に加わり活躍した。帝から「国姓」を賜り「国姓爺」と呼ばれるようになった。台湾では今なお「救国の英雄」と仰がれている。

平戸では、毎年七月十四日の誕生日に、鄭成功廟で盛大に「生誕祭」を開催している。台湾からも毎年多くの参加者がある。鄭成功廟の近くには、鄭成功手植えの木や居宅跡、白い母子像があり、千里が浜には、児誕石や碑文などもある。